予算申請書／部長会決裁用

決裁
420万円

営業支援ツール（SFA）導入の予算申請

営業30人の案件管理をExcelと手帳から脱却させ、初年度420万円で約1,350万円の効果を回収する計画です。

申請会社
みなと精機 株式会社

申請部門
営業企画

申請日
2026年11月17日

本日の説明順序

結論は1枚目に、根拠を5枚で、最後に決裁事項を置いています。

01 **現状の課題**
Excelと手帳の管理が生んでいる2つの損失

02 **損失の内訳**
集計6時間／週と失注2,400万円の構造

03 **申請内容**
初年度420万円の費用内訳

04 **3案の比較**
A社・B社・C社を3軸で評価

05 **期待効果**
年間1,350万円相当の3つの効果

06 **投資回収**
初年度で回収、2年目以降は年288万円

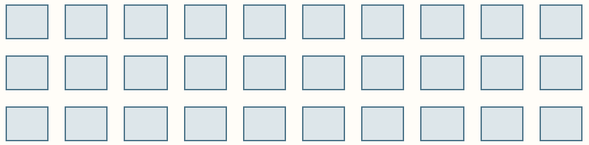
07 **導入スケジュール**
12月契約から3月本格運用まで

08 **決裁のお願い**
初年度予算420万円の承認

営業30人の案件情報は、Excelと個人の手帳に分散したままです。

営業部 30人

案件は個人の手元にある



個人のExcel　紙の手帳

様式も更新頻度も人によって違い、他の人が見ても案件の状況が分かりません。

手作業で集め直す

損失① 工数

6 時間 / 週

週次の案件集計に、営業企画が毎週6時間を使っています。

損失② 失注

2,400 万円 / 昨年度

案件の引き継ぎ漏れによる失注の推計額です。

週6時間の集計は年312時間、引き継ぎ漏れは4段階で失注に変わります。

工数の損失は時間で積み上がる

週あたり
6時間 → 年52週
312時間

■ 1本＝1週（6時間）／52週分



失注は引き継ぎの断点から生まれる

STEP 1
担当者が交代・
多忙で手が離れる

→

STEP 2
案件の履歴が
手帳の中に残る

↓

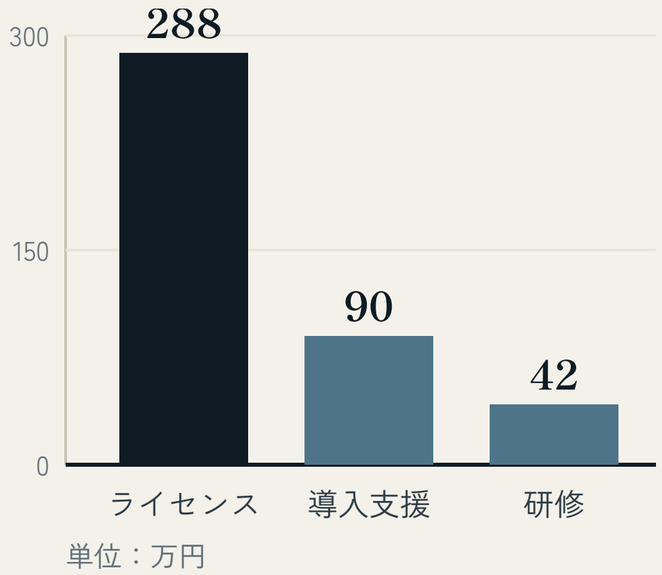
STEP 3
次の接触が
止まり、放置される

→

STEP 4
失注
（昨年度 推計2,400万円）

申請するのはSFAツールの導入、初年度は合計420万円です。

費用項目	算定根拠	初年度（万円）	2年目以降
ライセンス	1人 月8,000円 ×30人 ×12か月	288	288万円
導入支援	設定・データ移行の支援（初年度のみ）	90	—
研修	営業30人の全員研修（初年度のみ）	42	—
合計	本日の決裁対象	420	288万円



初年度の420万円のうち132万円は導入支援と研修で、翌年度以降は発生しません。

既存の会計ソフトと連携でき、2か月で立ち上がるA社を推します。

推奨

A社

8,000 円 / 人・月

- ✓ **既存の会計ソフトと連携可**
  受注後の二重入力をなくせます。
- ✓ **導入期間 2か月**
  3月の本格運用に間に合います。
- ✓ **30人で年288万円**
  本申請の前提としている単価です。

B社

12,000 円 / 人・月

- ✓ **機能は3案の中で最も多い**
- × **導入期間 4か月**
  3月の本格運用に間に合いません。
- × **単価はA社の1.5倍**

C社

5,000 円 / 人・月

- ✓ **単価は3案で最も安い**
- × **会計ソフトとの連携なし**
  受注後の二重入力が残ります。

選定の3軸　① 既存の会計ソフトと連携できるか　② 3月の運用開始に間に合うか　③ 30人分の年額が妥当か

年間の効果は3つ、金額に換算できる分で約1,350万円です。

効果① 集計作業の削減

312 時間 / 年

週次集計が自動で出るようになり、営業企画の年312時間がなくなります。

約150万円 相当

効果② 失注の半減

1/2

案件が全員に見える状態になり、引き継ぎ漏れによる失注を半減させます。

削減 1,200万円　　昨年度 2,400万円

1,200万円 失注の回復

効果③ 提案件数の増加

60 → 75 件 / 月

集計と報告に使っていた時間が提案に回り、月60件を75件へ引き上げます。

月15件の増加

金額換算できる年間効果　150万円 ＋ 1,200万円 ＝ 約1,350万円

06　投資回収

効果約1,350万円に対し費用420万円、初年度で回収できる見込みです。



バーの長さは年間効果約1,350万円を100%としたときの比率です。

効果 ÷ 費用

3.2倍

約1,350万円 ÷ 420万円。初年度のうちに費用を上回る見込みです。

2年目以降の費用

年 288万円

導入支援と研修の132万円が落ち、ライセンスのみになります。

12月に契約すれば、3月から全員が本格運用に入れます。

契約
A社と契約を締結し、初年度予算を執行します。

設定とデータ移行
既存Excelの案件を移行し、会計ソフトと連携します。

全員研修
営業30人が入力と案件更新の手順を習得します。

本格運用
週次集計を自動化し、効果の測定を開始します。

12月 STEP 1

1月 STEP 2

2月 STEP 3

3月 STEP 4

A社の導入期間は2か月、1月と2月がその期間に当たります。 B社の4か月では、3月の運用開始に届きません。

08　決裁のお願い

初年度予算420万円の承認をお願いします。

本日ご説明した4つの根拠

1　毎週6時間の集計と、昨年度推計2,400万円の失注が出ている。

2　連携と導入2か月を満たすのはA社だけで、月8,000円で導入できる。

3　年間効果は約1,350万円、費用420万円を初年度で回収できる。

4　12月契約で3月本格運用、2年目以降の費用は年288万円に下がる。

決裁事項

SFA（A社）導入 初年度予算

420 万円

内訳	ライセンス288／導入支援90／研修42
2年目以降	年288万円
執行開始	12月 契約

本日この420万円をご承認いただければ、12月の契約手続きに入ります。